

記憶される戦争

まちに残る戦争の記憶から、私たちは何を学ぶ？



これは何？

忠魂碑 会津若松

日清・日露両戦争で戦病死した会津若松出身兵士のために
市内の有志から寄付金3,700円余り(※)を集めて建設された。

明治44年(1911)12月5日に除幕式と臨時の招魂祭が
鶴ヶ城本丸で挙行された。

県営会津競輪場建設(昭和24年(1949)9月建設工事着工)のために、
本丸から北出丸にある武徳殿(ぶとくでん)の東側に移設された。

※明治40年頃の国家公務員の初任給50円



忠魂碑（鶴ヶ城本丸），会津若松市デジタルアーカイブ, CC BY.

<https://adeac.jp/city-aizuwakamatsu/catalog/mp600023-100060>

まちが記憶する戦争

「忠魂碑」そのまちから出征して戦没した人を記録する
最高裁判所の箕面忠魂碑訴訟判決によると、

忠魂碑は「幕末期から建立され、国事で戦没した人を慰霊する目的で作られた。

日露戦争後は各地に多数みられるようになったが、昭和16年以降、

新しい忠魂碑の建立は減っていった。戦後、GHQの「神道指令」により、

軍国主義的または超国家主義的な思想を広める忠魂碑等は撤去の対象となった。」

出典 最高裁判所判例最高裁判所第三小法廷平成5年2月16日民集 第47巻3号1687頁

https://www.courts.go.jp/app/files/hanrei_jp/361/056361_hanrei.pdf

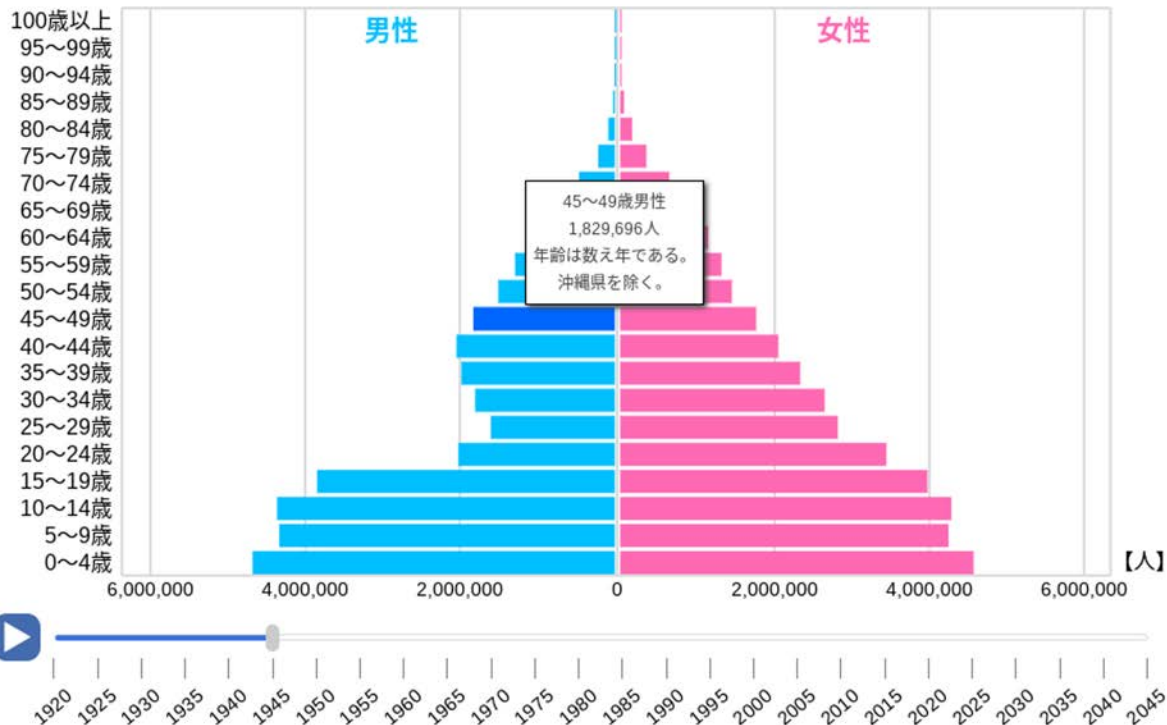
「忠魂碑」って何だろう？

- いつ頃つくられたものだろう？
- 何の目的で作られたのだろう？
- 「忠魂碑」と「慰霊碑」はどうちがう？（ヒント「忠」の字に注目）
- なぜGHQは「神道指令」で、忠魂碑の撤去を求めたのだろう？
- 忠魂碑をめぐる起こされた裁判は、何が争われたのだろう？

これらの問いから、考えたことは？

時点: 1945 年

全国 (日本)

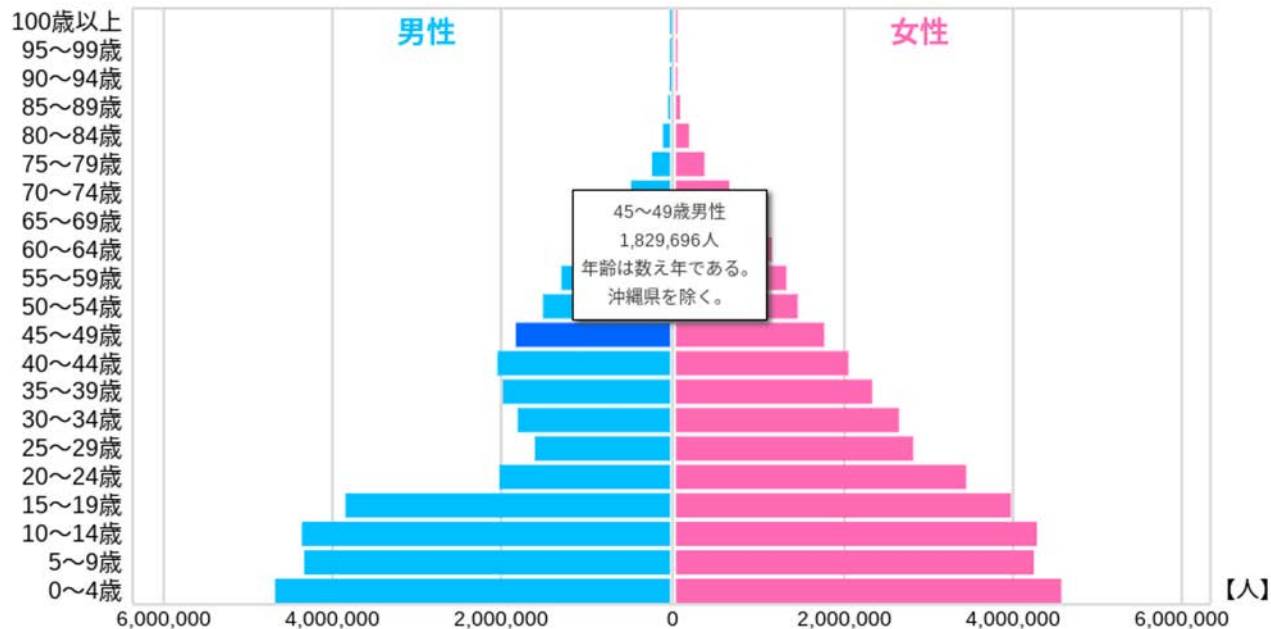


これは何？

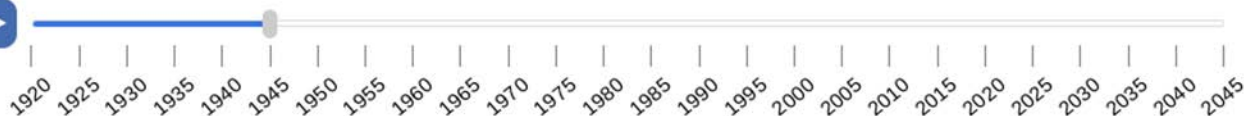
データに記録される戦争 1945年の人口ピラミッド

時点: 1945 年

全国 (日本)



統計ダッシュボード
<https://dashboard.e-stat.go.jp/pyramidGraph?screenCode=00570®ionCode=00000&pyramidAreaType=2>



この人口ピラミッドから何がよみとれる？

- 「戦争」をよみとれるのは、どの部分から？
- 1945年の何月の統計だろう？
- なぜこの統計には、沖縄県がぬけているの？
- 沖縄県の人口ピラミッドは、どうなると予想できる？
- 「戦争」は、人口ピラミッド以外にどのような統計に反映される？

これらの問いから、考えたことは？



これは何？

本が記憶する戦争 「戦時文庫」

神奈川県立図書館に収蔵されている、第二次世界大戦中に出版された本



『其の日の心得』
神奈川県立図書館

https://www.klnet.pref.kanagawa.jp/uploads/2020/12/01kuchie_1_2.pdf



『コドモキンロウブタイ』
神奈川県立図書館

https://www.klnet.pref.kanagawa.jp/uploads/2020/12/01kuchie_1_2.pdf

<https://www.klnet.pref.kanagawa.jp/publications/senji/>

「戦時文庫」から、わかることは？

- 「戦時文庫」って何？

戦後、金沢文庫からたまたま発見され神奈川県立図書館に収蔵されている文庫。戦争中、文部省の「図書館令」によって、国民の戦意発揚を目的として整備され、GHQの接收をのがれたものなどから構成される1570冊。

- どのような内容が書かれている？
- 誰に向けて書かれている？
- GHQはなぜ接收を命じたのだろうか？
- なぜ、隠されていたのだろうか？

これらの問いから、考えたことは？